

ネットは「使わせない」から「安全な使い方を伝える」へ
安全なインターネットとの付き合い方

「青少年インターネット環境整備法に保護者の責務が定められています」

(保護者の責務)

第六条 保護者は、インターネットにおいて青少年有害情報が多く流通していることを認識し、自らの教育方針及び青少年の発達段階に応じ、その保護する**青少年について、インターネットの利用状況を適切に把握するとともに、青少年有害情報フィルタリングソフトウェアの利用その他の方法によりインターネットの利用を適切に管理し、及びその青少年のインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努めるものとする。**「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律(青少年インターネット環境整備法)」(H29 年 6 月改正)

【子どもたちへ：インターネットを安全に安心して楽しく使うために】

1. すがたの见えないネットの世界【自分の身を守るために】

① 個人情報をむやみに公開しない(自分、家族、友人を含む)

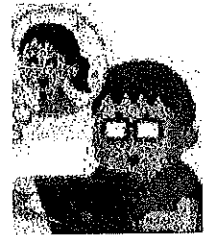
名前、顔写真、学校名など個人を特定できるような書き込みや画像

② 相手の言うことをうのみにしない

「おかしいなあ」と思ったらすぐに大人に相談する

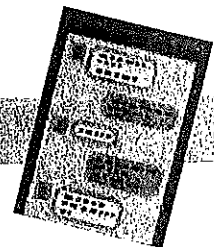
③ ネットで知り合った人とは会わない

どうしても必要な時は、家族に相談してから大人の人と一緒に



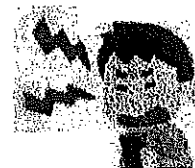
2. インターネットの特性「バレる・広がる・伝わらない」

- ・友人だけが见ているわけではない！誰が见ているかわからない
匿名(とくめい)でも**発信元や個人情報**は**バレる** 成りすましに気を付ける
- ・一度発信した情報は、**広がる、消せない！**
- ・こちらの気持ちは伝わりにくい！相手は自分の価値観で判断する
「**判断の基準は相手にあり**」



3. インターネットを安全に使うために気をつけること

- ・普段の生活でやらないことは、ネットでもしない！
親や先生の前で言えないことは、ネットでも言わない！
- ・マナーやルール(規則)を守る(規範意識)
- ・人それぞれ、考え方が違う。相手を思いやる気持ちを持つ
- ・いやなことは断る、互いに注意しあう勇氣を持つ
- ・ひとりで勝手な判断はしない！わからなかったら大人に相談する



4. こんな時には・・・

- ・ゲーム、動画、どうしてもやめられないときは？
➢ 自分の健康のこと、時間の使い方を考える。家族に協力してもらう。
- ・写真や動画を撮影する時は？
➢ 写り込みに注意！無関係の人たちや場所が特定されるもの、個人情報など良く確認してから撮影する。親しい友人であっても許可なく撮影しない。
➢ 勝手にネットにアップしない、他の人に送らない！必要な時は、親と相談してから。
- ・ケンカになりそう、勘違いされたときは？ そんなつもりじゃなかったのに・・・
➢ なるべく顔を合わせて、誤解を招いたことをあやまり、気持ちを伝える。
➢ 送る前にもう一度読みなおす習慣をつける。(誤解されないか、イヤな言葉がないか)

保護者の皆さまへ 裏につづく>>

【保護者の皆様へ：子どもの成長に合わせて見守りを行ってください】

1. 大人の役割として最低限これだけは・・・

- ・危険を回避する手立て（予防は大事）
 - ・フィルタリング設定（スマホ、機器の設定、アプリ、無線 LAN ルーター、有料ソフトなど）
 - ・ゲーム機の「保護者による使用制限」（ペアレンタルコントロール）の設定
 - ・定期的なチェックと見守り、家庭のルール作成（ネット接続端末を与えた責任）
 - ・アプリやソフトの対象年齢を守る、試し使いをしてトラブル要素がないか確認する（利用規約に目を通し、ネットでの評価なども参考にする）
- ・トラブル発生時の対処に関する知識（勝手な判断は危険）
 - 心当たりのないもの、詐欺や不正請求への支払いはしない
 - 勝手な判断をしないで、信頼できる人（機関）へ相談する
 - ・佐賀県ネットトラブル相談窓口（0120-060-797）
 - ・ネットのトラブル相談窓口「ほっとネットライン」（0120-797-100）
- ・発達段階での心の変化を理解する（同世代だった頃の自分を振り返って）
 - 自己肯定感、まだまだ未熟（褒められたい、認められたいなど他者承認欲求が強い）
 - 友だちが一番！共通のコミュニケーションツールを使って仲間づくり
- ・マナーやモラルは大人が「手本」です（子どもは見ている）

2. 「家庭のルール」を作成する際には

子どもが使うゲーム機などインターネットに接続する端末は、保護者が管理してください。
一時的に「貸してあげている」という姿勢でルール作りを考えてください。

①機器の管理

設定などに必要な、端末の「管理パスワード」は子どもに教えない
家庭では目の届くところ（リビングなど）で使用させながら、日頃から対話の時間を持つ

②定期的なチェック

使用しているアプリや時間などの管理・チェック、時々一緒に画面を見る
定期的な機器のチェック日を設ける（週に1回とか、見られるという危機感が有効的）

③時間のルールは明確に

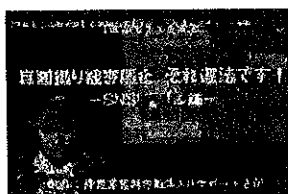
時間制限をする理由をしっかりと説明し、理解させる
自分で時間コントロールできるように導いていく
相手のこと（時間帯）を考えさせる

その他、ご家庭に合わせたルールを子どもと一緒に考えて作成してください。ルールは作ることでなく、守れているかチェックをすることが大切です。守れていない場合は話し合いをして、変更するなど柔軟に対処して、「守るための努力」をサポートしてください。
最終目的は、ルールがなくても自分で判断し行動できるようになることです。

自分の身は自分で守れる子に！

家庭で学ぶ情報モラル・情報セキュリティ

【動画で学ぶネットの安全な使い方】



自撮り被害防止 それ違法です！
(IT サポートさが)



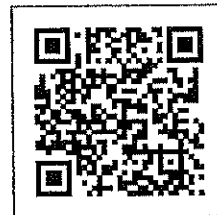
SNSで炎上 後悔先に立たず
—SNS 投稿トラブル編—
(IT サポートさが)



情報モラル映像教材
(愛媛県警察)
実例をもとに制作



ネット被害(中2～高3)
写真や動画が流出する怖さ
を知ろう (文部科学省)



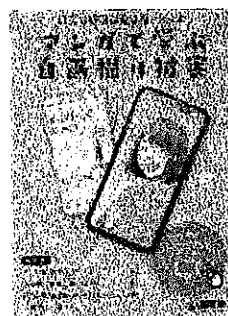
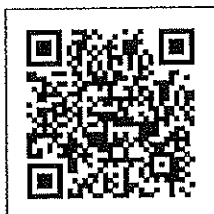
疑似体験アプリスマホにひそむ危険
(デジタルアーツ)



マンガで学ぶ自撮り被害防止



STOP!自撮り!「知らないうちに、あなたも巻き込まれているかもしれません」(警察庁)



マンガで学ぶ自撮り被害 (福岡県)



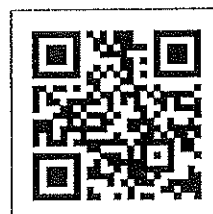
【保護者のために役立つサイト】

以下の用語で検索してください。

■インターネットを利用する際に、知っておきたい『その時の場面集』

(一般財団法人インターネット協会)

Twitter、Instagram、LINE、TikTok などのよくある困った場面での操作方法
スマートフォン基本設定編
フィルタリング編 など目的に応じて解説されているので使いやすい。



■保護者のための Instagram ガイド

(インスタグラム)

インスタグラムを安全に使うために
機能や対策をわかりやすく解説

